資料3−1

ロジックモデル（イメージ）

活動（取組の内容）	直接アウトカム～中間アウトカム（想定案）（取組の結果として生じる直接的な効果～中間成果）
重点施策1 誰一人取り残さない包括的な支援体制の整備	
1-（1） 全世代型・全対象型の包括的支援体制の構築	支援を必要とする人に必要な情報を提供できている 全ての人にとって相談窓口が身近なものになっている どこで相談を受けたとしても必要な支援につなぐことができている あらゆる世代の複雑化・複合化した課題に対応できている
1-（2） 生活困窮者に対するセーフティネットの充実	住まいの課題を抱える人が居住支援を受けられている 生活困窮者が自立に向けた就労支援等を受けられている
重点施策2 再犯防止・更生支援の推進	
2-（1） 矯正施設出所前後におけるシームレスな更生支援の推進	再犯率の低下 矯正施設出所後の就職率の向上
2-（2） 立ち直りを進めるための再犯防止・更生支援の理解の促進・民間更生活動の推進	再犯防止・更生支援等への理解が高まっている
重点施策3 多様な主体の協働による誰もがつながる地域の形成	
3-（1） 全世代型の地域のつながり形成	地域の交流・世代間交流が生まれている 地域活動等の参加者が増えている 孤立していた方が社会とつながっている
3-（2） 多様なステークホルダーの参加と協働による地域活動の促進	様々な機関・団体・事業者が地域とつながっている 様々な機関・団体・事業者が地域活動に参加し、協働している
重点施策4 権利擁護支援の充実・強化	
4-（1） 包括的な権利擁護支援体制の構築、地域連携ネットワークの機能強化	多機関の連携により、支援が切れ目なく、適切に提供されている 必要な支援に迅速につながる体制が機能している
4-（2） 総合的な権利擁護支援の推進	虐待等の権利侵害に対して、適切な対応が行われている 支援者が適切な判断と対応を行えている 支援が届きにくい人が、必要な支援につながっている
重点施策5 災害への備えや支援体制の構築	
5-（1） 避難行動要支援者への避難支援等の一層の推進	個別避難計画等の策定が進んでいる
5-（2） 支援が必要な人に配慮した避難所等の整備の推進	福祉避難所の登録が進んでいる 種別に応じた福祉避難所の運営マニュアルができている
5-（3） 被災者支援の充実（平常時と災害時の取組の連動）	災害ボランティアセンターなどの運営想定ができている 様々なステークホルダーが連携し、有事に対応できるようになっている

最終アウトカム

めざす最終的な状況

基本目標①
誰一人取り残さない支援体制が構築できている

基本目標②
多様な人や組織の参加と協働により“ともに暮らすまち”が実現できている

基本目標③
全ての人の権利が守られ、尊厳のある本人らしい生活が継続できている

基本目標④
災害時も支え合う仕組みができている

“ともに暮らすまち”
“支えあい続けるしくみ”を
わたしたちの
“参加と協働”
でつくる